

表題：第2回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会 概要

1 日 時 平成29年9月19日（火曜日） 18時30分から19時52分

2 場 所 仮庁舎 2階会議室

3 出席者 （委員）

石川かず子、井上祐輔、香取幸子、小松揚明、小山裕紀子、田中幸男、
中沢清、豆田和子

（事務局）

古川実（住民部地域課長）、水村探太郎（住民部地域課地域係長）、
堂垣祐介（住民部地域課地域係主任）

4 議 題 1 協働ガイドラインについて

2 協働フォーラムについて

3 その他

5 配布資料 1 次第

2 瑞穂町の協働について

3 （仮称）瑞穂町協働ガイドラインについて

4 協働ガイドライン目次（案）について

6 開会

香取委員長

7 あいさつ

古川地域課長

8 議題1 協働ガイドラインについて

協働事業を窓口で受け付ける際に、協働事業として採用できるかどうかの明確な基準となるルール作りを行っていく。また、ガイドラインを作成することで、初めて協働を行う方への説明資料とする。事務局でガイドラインの内容を示していくので、それに対し委員から住民目線での意見をいただく。

【2班に分かれてワークショップを実施】

- ・目次にQ&Aを入れたい
- ・総合窓口が地域課ということを入れてほしい
- ・協働の活動をするうえで必要となるのは保険なので、ボランティア保険などの案内を入れてほしい。また活動資金について、補助金や助成の制度があるのか記載してほしい
- ・協働事例があったほうが協働を理解しやすい

- ・行政が具体的にどのように支援してくれるのかをルールの中に入れてほしい
- ・フローチャートを作成することで全体の流れを一目でわかるようにする。さらに、始まりだけではなく、行政との協働から離れて自立していくまでのゴールのようなところで記載してほしい

議題2 協働フォーラムについて

事務局側は今年度も協働フォーラムの開催を予定しています。そこで、瑞穂町協働のまちづくり推進委員会のフォーラムへの関わり方について協議しました。具体的には、事務局単体で行うのか、事務局と推進委員会の協働で行うのか、事務局が主体となり委員の中で協力できる方のみ協力してもらう、という形が考えられる。

- ・現状として、協働という言葉はまだ浸透していないと思われるので、協働フォーラムという単体のイベントに人を呼ぶよりも、他のイベントとタイアップして協働を紹介したほうが良い。なぜなら、多くの人に協働を広めるには、協働を知っている人に伝えるのではなく、全く知らない人に伝えることが重要であるから。
- ・フォーラムについて、今年度は推進委員会と協働で実施するか、事務局だけで行うのかを協議したが、結論は出なかった。ただ事務局として、協働の周知啓発活動は継続的に行っていく必要があると考えていることから、フォーラムは開催する予定である。また、29年度の委員会は全5回を予定しており、それ以外にフォーラムに向けて作業部会を開催するかは未定である。
- ・候補として、3月に開催するならけやき館でつるし雛のイベントを開催しているので、そことタイアップしてイベント性のあるものにしていくという案もある。
- ・協働推進アドバイザーの辻山講師は29年度中に1度だけ委員会に出席していただけることになっている。協働推進を始めて5年目となり、自立していく時期に入っていることから今年度が最後であると思われる。
- ・昨年度に引き続き、事務局も様々なイベントで協働の周知啓発活動を行っていきませんが、委員の皆さまにも活動拠点にて協働のPRをお願いしたい。

議題3 その他

事務局から次回委員会日について確認し、11月15日（水）で決定。